

安見瑞季先生の勤めるハワイ大学マノア附属幼稚園の環境を見学させていただいたので、気づいた点や面白かった点、富士見幼稚園でも参考にさせていただきたい点等を写真と共に紹介します。

【外観】

敷地全体が緑に囲われていて、中央が保育室、その周りを囲うように園庭が広がっている。保育室(年齢)によって園庭・門が分かれていて保護者がそれぞれの場所から入るようになっている。掲示板にはお知らせやスケジュールを貼っていた。



【園庭環境】

園庭には、様々な固定遊具と遊具が設置してある。突然のスコールでも遊べる工夫なのか、屋根のついたスペースがいくつかあり、子どもたちが思い思いに遊べるようそれぞれ工夫されている。

土と芝生の部分があり、大きな木々や自然に囲まれている。学年で使用する園庭のスペースが異なる。

【1】【2】



左：【1】 5歳児

右：【2】 3歳児

下：【3】 4歳児



↑小屋の前にフライパンやお菓子の型が吊るされていて、備え付けの棒や手で叩くと色々な音がする。



↑【3左】小屋の中にはキッチンコーナーがあり、鍋やじょうろなどが置かれ土遊びを楽しんでいる形跡がある。



↑もうひとつの小屋【3右奥】は、茅葺屋根のように草と木で出来た作りになっていて、ハワイの伝統的な家の形を模している。床板が張られていて椅子や玩具もあり、室内環境と同じような役割として利用している。



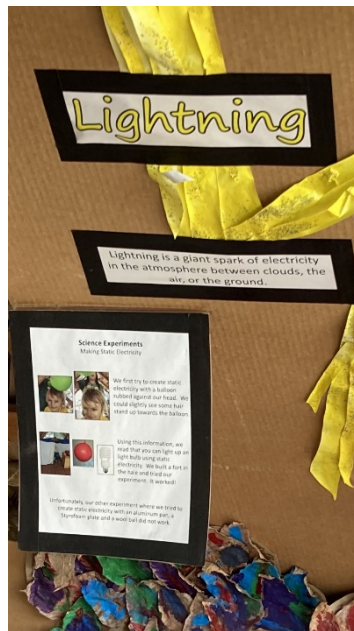
↑積み木が形ごとに分けて収納されている。その他の玩具も写真で中身が表示されていて、一目で片づける場所がわかるように工夫されている。また、世界遺産などの建造物の写真がさりげなく壁に飾られている。その写真からイメージして積み木遊びを始める姿も目に浮かぶ。



↑木で出来たキッチンや電子レンジ、本物のようなレジ。子どもたちが描いた家族や友達の絵がラミネートして目に留まる高さに飾られている。



↑ハワイ島はキラウエア火山を始め火山活動が活発。火山 (volcano) の仕組みについてわかりやすく表現し、説明がされている。自分たちの住む土地がどのようにして成り立っているのかを知り、そのうえで自然との共存を考えてくきっかけとなっていると思う。



↑「What do you know about lightning?」雷について子どもたちへの投げかけと、それに対する回答

←風船を使って静電気の実験をしている様子のレポート

↑屋根の傾斜に沿って雲と雨雲と雷が飾られている。なぜ雷が落ちるのか、電気の仕組みなどが模型と文字によって説明されている。子どもたちと一緒に考えたり、実験したりして、身近な自然現象の仕組みに興味を持てる取り組みを行っていた。

【室内環境】



←真っ先に目を引いたのがゲートに掛け付けられた楽器。通りがかりに叩いたり揺らしたりして音を鳴らす子どもの姿が想像できた。身近に触れられるからこそ大切にも扱えるのか、壊れたりしている様子はなかった。



←↑保育室の壁に「Sensory Wall」というものが設置されている。(Sensory: 感覚的な) 左側は様々な素材が並べられており、感触の違いが感じられるようになっている。右側は、鈴・ビーズ・木の玉・ブロックという材質や質量の違うものがそれぞれの筒に入れられていて、傾けた時に転がる音や感触や重さなどが感じられるようになっている。どちらも感覚的に様々な物や素材の違いを感じられるように工夫がなされている。子どもがふとした時に触って確かめることができる場所に設置されている。



←Sensory Wall の隣には、「Music Center」が設置されていた。トライアングルや鉄琴・鈴など様々な楽器に触れることができるスペースになっている。いつでも好きな時に音を鳴らして楽しむことができる環境になっている。



← 5歳児保育室 こちらの積み木も種類ごとに綺麗に分類されているが、よく見ると積み木の形がシルエットで表示されている。子どもたちが積み木と表示を見比べながら、考えて並べることができるように工夫されている。形の違いや組み合わせで別の形になることも自然と学べる。



← 3歳児保育室 素材・道具棚。ハサミやクレヨンから厚紙まで、使いたいものが一目瞭然でわかるように綺麗に整頓されている。自分で棚から必要な素材や道具を取り出して製作遊びができるようになっている。ボックスの表面と棚にも写真が貼られていて、ボックスを出しても元の場所に戻せるようになっている。ブロックや電車などのおもちゃについても同様に収納されている。



↓ どの保育室でも壁に子どもの作品や、活動の軌跡が貼られている。自分の作品を振り返ったり、友達の作品に目を向けたりできる場となっている。





↑ 3歳児保育室 大きな飼育ケースに入ったリクガメと生活している。他にも虫など生き物を飼育している。



↑ 4歳児保育室 ゆったりとしたスペース。サーフボードが飾られていてハワイらしい。



← 3歳児保育室 室内の一角に、階段で登れるテラスが設置されている。大人が見てもワクワクするような素敵な作り。テラスの上も下もまるで隠れ家のように、子どもたちが夢中で遊べるのはもちろん、心の拠り所になるような落ち着けるスペースの役目も果たすことができそう。洗濯ものが干されていたり、キッチンがあったりと、家に見立ててままごと遊びをしているのだろうか。

【ハワイ大学マノア附属幼稚園 見学を終えて 感想】

園全体がとても温かい雰囲気、その中で子どもたちを刺激するような工夫された環境が各所にちりばめられていました。特に壁に設置された **Sensory Wall** や **Music Center** が印象的でした。“いつでも好きな時に”感覚的に色々な物の感触を確かめることができたり、音を奏でられる環境を設置するという発想がなかったので、富士見幼稚園での保育にも活かしてみたいと思いました。

今回は子どもがほぼ降園している時間帯だったため、実際に子どもたちが遊ぶ様子を見ることはできませんでしたが、子どもたちがゆったりと、時には挑戦的意欲を持って遊びや活動に取り組んでいる様子が想像できる、とても素敵な環境でした。

見学させていただきとても充実した時間を過ごすことができました。貴重な経験をさせていただき有難うございました。



(附属幼稚園 園長先生と)